

リュウキュウツワブキ

じゅんげつめつ きく
準絶滅危惧

学名	Farfugium japonicum var. luchuense		
科名	キク		
別名			
区分	そうほんるい 草本類		
分布	あまみ おおしま 奄美大島、	おきなわほんとう 沖縄本島、	いしがきじま 石垣島、
	いりおもてじま 西表島		



葉の形	おうぎがた 扇形
葉の縁	きよし 鋸歯
葉の先	
葉の種類	たんよう 単葉
葉の付方	
葉の基部	くさびがた、せつけい くさび形、切形
実の種類	そうが そう果
花・萼色	きいろ 黄色

ふつう へんしゆ さんち けいりゆうそ は
普通のツワブキの変種で、山地の溪流沿いに生え、
たか 30-80 cm の多年生の草本です。葉は光沢があり、
は ふち きよし するとが けいりゆう は しゆ きぶ
葉の縁は鋸歯が鋭く尖り、溪流に生える種の基部は
くさびがた せまく けいりゆう いがい きぶ せつけい ひろ
くさび形で狭く、溪流以外では基部が切形で広くなっ
ています。花は黄色で林内ではよく目立ちます。

せつ
説
めい
明